

コミュニケーションツールのご案内

当社は、公式サイトやソーシャルメディア等を利用したプロモーションや企業活動の告知を行っております。コミュニケーションの充実に努めてまいりますので、ぜひ、株主の皆様も様々な形で当社に触れてみてください。

理経の最新IR関連ニュースをご覧ください。登録は以下よりお願いいたします。

IRメール配信サービス
最新IR関連ニュース
rikei.co.jp/irml



公式サイト



公式 Twitter アカウント
お知らせ・ニュースリリース

@rikei_pr



メールマガジン
製品情報

rikei.co.jp/prml



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領
株主確定日 3月31日

中間配当金受領
株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1

同 連 絡 先 TEL **0120-232-711** (通話料無料) (平日9:00~17:00)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上 場 市 場 東京証券取引所 市場第二部

電子公告

公告掲載URL <http://www.rikei.co.jp/>

ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

RIKEI REPORT 2021

第65期 中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

Feature

開発拠点として日本橋営業所をオープン

Topics

5G通信関連設備~提供の活発化~

各事業領域の収益力を高め、
企業価値の向上に努めてまいります

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第65期の上半期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、日本の社会生活は、厳しい制約を受け続けました。その後感染者数は一旦減少傾向となり、緊急事態宣言は解除されましたが、依然感染の動向を注視した経済活動が続くと予想されます。

また、世界的な半導体不足が続き、IT業界においても、それに伴う製品生産遅れの傾向があり、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような環境下、当社グループは、2019年5月に公表いたしました中期経営計画に基づき、当社グループの基盤三事業につき、市場変化に合わせ、より柔軟に事業領域や組織の見直しを行うとともに、新たな事業領域の確立や、相乗効果が見込まれる他社とのビジネス連携・資本提携・M&A等を推進していくことで収益の更なる拡大を目指しております。

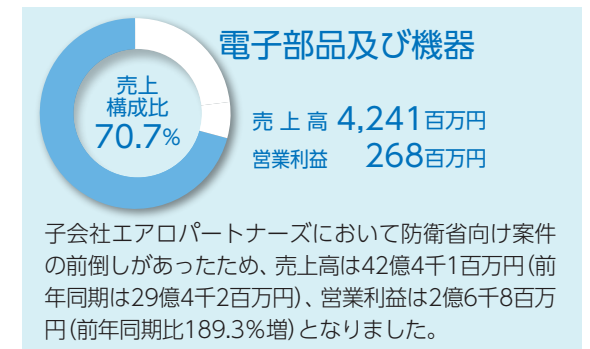
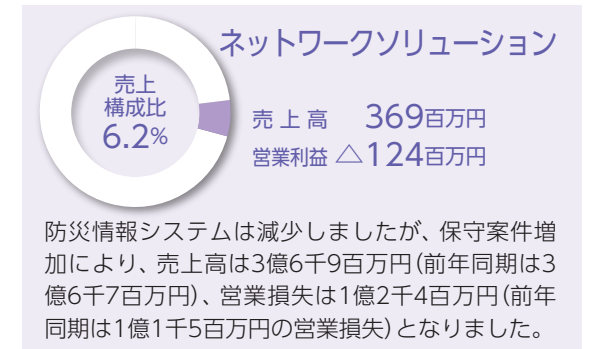
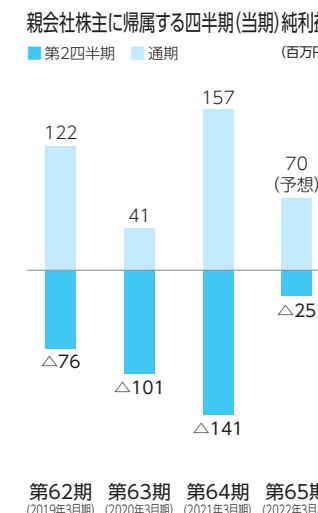
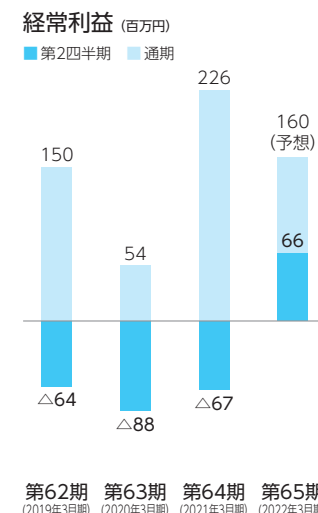
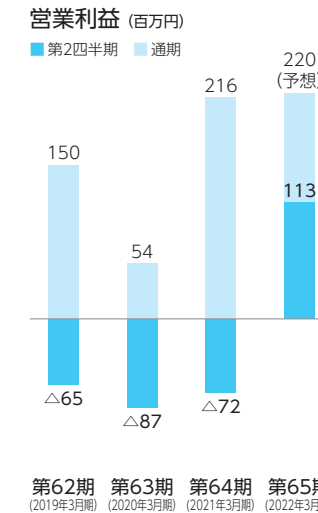
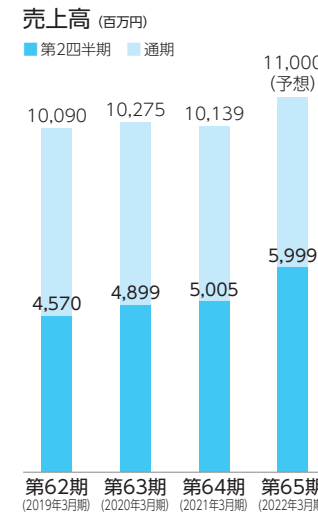


代表取締役社長 猪坂 哲

この結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、連結売上高は59億9千9百万円(前年同期は50億5百万円)となりました。損益面では、営業利益は1億1千3百万円(前年同期は7千2百万円の営業損失)、営業外費用として子会社減資に伴う為替差損3千8百万円を計上し、経常利益は6千6百万円(前年同期は6千7百万円の経常損失)、特別損失として本社移転費用等を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は2千5百万円(前年同期は1億4千1百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

今後も引き続き、各事業領域の収益力を高め、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



開発拠点として日本橋営業所をオープン

2021年5月、本社移転と同時に、日本橋営業所を開所いたしました。開発機材を集結させ、デモ環境も整え、充実した開発拠点として新たなスタートをきりました。ソフトウェア・コンテンツ開発を行う部署が日本橋営業所に集結し、理経独自の製品を創出すべく日々開発に取り組んでおります。日本橋営業所の取り組み事例、製品をご紹介します。

森ビル株式会社と共同で「火災時初動訓練VRシミュレーター」を開発

森ビル株式会社では、安全・安心な都市づくりを実現すべく、様々な取り組みを実施しており、その一環として、火災発生時における初動訓練を定期的実施しています。しかし、テナントが入居する稼働中のオフィスやレジデンスにおいては火災発生現場を忠実に再現することは不可能であり、大規模かつ本格的な初動訓練の実施には限界がありました。この課題を解決すべく、「火災時初動訓練VRシミュレーター」を森ビル株式会社と共同で開発することになりました。

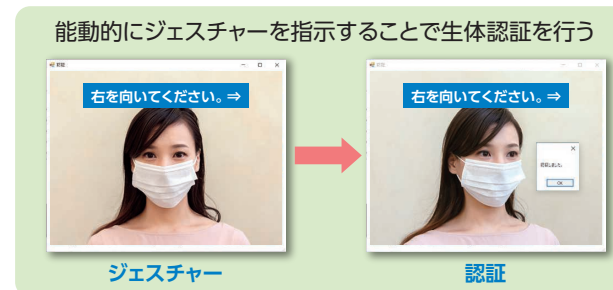
本VRシミュレーターを活用することで、仮想空間内で訓練者が実際に火災報知機を鳴らしたり、燃え上がる炎の前で消火訓練をすることが可能となります。本VRシミュレーターには、各種判断・行動に対する採点機能も搭載しており、担当者の主観に頼らない客観的な採点結果によって、より効率的なスキルの向上が期待できます。加えて、コロナ禍で人流抑制や様々な行動制限があるなかにおいても、いつでも、どこからでも、何度でも、火災時における適切な初動訓練の実施が可能となります。森ビル株式会社では、管理・運営に関わる現場社員・協力会社スタッフを対象として、本VRシミュレーターによる初動訓練を順次開始しています。



顔認証を利用したアプリケーション

先端技術ラボラトリーでは顔認証技術を利用したアプリケーション開発を行っております。今期二つのアプリケーションをリリースいたしました。

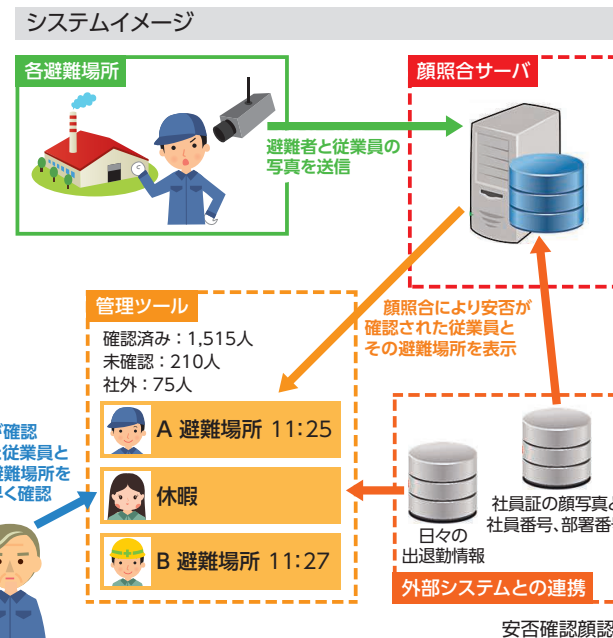
一つ目は**顔認証を利用した2要素認証化アプリケーション**です。本システムは専用の認証用ハードウェアが不要なため、企業内で利用されている既存アプリケーションを簡単に顔認証化することができます。独自の生体認証技術による2要素認証化を行うことにより、アプリケーション上でのなりすましを防止し、現在社会問題になりつつある無資格者検査などの不正防止に貢献いたします。



既存アプリケーションの2要素認証化（不正操作防止）

二つ目は**顔認証による安否確認システム**です。大規模工場やプラント等で大規模災害があった時に、速やかに従業員の安否確認を行うシステムです。部門責任者は施設内の避難所に設置されたカメラに写った写真で顔認証を行うことにより、簡単に当該社員の安否を確認することができます。既にリリースしているメールによる安否確認システムと連携することにより、出張者や在宅勤務者の安否確認を統合的に行うことも可能です。顔認証エンジンは高度なディープラーニング技術を併用しており、マスクを着用したままでの顔認証にも完全に対応しております。

いずれも既存の高性能エンジンを使用しており、高精度な認証が可能です。



5G通信関連設備～提供の活発化～

高速・大容量通信、低遅延、多数の機器に同時接続が可能な5G。
当社では5G通信に関連する設備の提供が進んでおります。

Siklu社 ミリ波無線機

携帯電話各社が5G通信に対応したスマートフォンを大々的に宣伝しているのはご存知のとおりですが、そのサービス対応地域を全国津々浦々に広げるといってはまだまだ道半ばです。基地局のカバー範囲が狭いため、各社それぞれ数万台の基地局を整備する計画ですが、それぞれの基地局に通信のファイバーを接続することも基地局構築の展開を足踏みさせている要因です。そこで理経の提案するイスラエルSiklu社製のミリ波無線機は、ファイバー敷設を待たずとも基地局へ大容量の通信回線を確保できるため注目されております。既にいくつかの携帯電話会社でトライアルが始まり、本格展開が期待できます。



Apposite Technologies社 WANエミュレータ

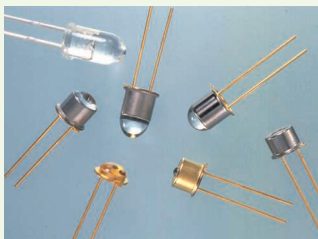
5G通信網を展開するユーザは常にネットワーク上の帯域幅、遅延、ジッタ※、パケットロス等の複雑な事象を模擬する必要があり、そのためには実回線の特性を備えた複雑な広域ネットワークを構築しパフォーマンスをテストする必要があります。ユーザは5Gサービスを提供する上で、Apposite Technologies社のWANエミュレータを使用することで、サイトアクセスの待ち時間、パケット損失、断続的な接続を備えた5G通信の状態を再現でき、高速大容量、低遅延、多接続のネットワーク構築が可能となります。

※ジッタ：データ伝送にかかる時間が一定しない現象。映像や音声等が乱れる原因となる。



大同特殊鋼株式会社 点光源LED Micro-Tronics社 フィルタリング部品

5Gの普及拡大、新型コロナウイルスによる巣ごもり需要を背景として半導体の不足が深刻化しており、その増産、高機能化を迫られる製造装置の需要は好調であり、今後も期待できます。これに伴い半導体製造装置内のセンサーとして使用される大同特殊鋼製点光源LEDは、その性能が高く評価され、この半年、受注が伸びております。また、昨年の5Gサービスイン以前の需要としてフィールドのテスト機器に採用されたMicro-Tronics社製フィルタリング部品に関しては、現在保守を中心に対応しております。



■ 会社概要

商号	株式会社 理経 (RIKEI CORPORATION)		
本社所在地	東京都新宿区西新宿三丁目2番11号 新宿三井ビルディング二号館 〒160-0023		
設立	1957年6月8日		
資本金	34億2千6百万円		
決算期	3月		
従業員数	139名		
役員	代表取締役社長	猪坂	哲
	常務取締役	古畑	直樹
	取締役	古田	耕児
	取締役	長谷川	章詞
	取締役	小柳	誠
	取締役(社外)	伊達	雄介
	取締役(社外)	滝澤	明久
	常勤監査役	石橋	信一郎
	監査役(社外)	秋元	創一郎
	監査役(社外)	古谷	伸太郎

■ 株式の状況

発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	15,514,721株
当期末株主数	7,092名

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
石川 理香	1,316	8.70
光通信株式会社	1,282	8.48
株式会社三菱UFJ銀行	466	3.08
明治安田生命保険相互会社	465	3.07
楽天証券株式会社	394	2.60
株式会社SBI証券	139	0.92
松井証券株式会社	122	0.81
石川 大樹	120	0.79
理経従業員持株会	118	0.78
古畑 直樹	109	0.72

(注)持株比率は自己株式395千株を控除して計算しております。また、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

■ 支店及び営業所

大阪支店	大阪市北区西天満1丁目7番20号
日本橋営業所	東京都中央区日本橋小網町18番3号
東北営業所	仙台市青葉区一番町1丁目2番25号
名古屋営業所	名古屋市中区丸の内3丁目17番4号
九州営業所	福岡市博多区博多駅前2丁目20番1号
技術センター	千葉市美浜区中瀬1丁目3番地
沖縄出張所	那覇市前島3丁目25番2号
北米駐在事務所	米国オレゴン州ベンド市

■ 連結子会社

リケイ・コーポレーション(H.K.)リミテッド
事業内容：電子部品及び機器事業
株式会社エアロパートナーズ
事業内容：航空機及び航空機器部品の販売・リース・カスタマーサポート
株式会社ネットウエルシステム
事業内容：システム開発・サービスの提供
エアロパートナーズ・アメリカ, Inc.
事業内容：航空機及び航空機器部品の輸出入

■ 所有者別株式分布状況

